

農事組合法人 中山五拾町（福岡県柳川市）

組織の概要

- 市内2の集落営農組織の合併により、H30年に設立
- 構成農家 30戸
- 県内大豆種子の生産ほ場に一部指定されており、徹底した生産管理を実施
- 耕耘・播種から刈取の機械の導入により生産コストを低減



生産概要

- 【作付面積】水稲：22ha、小麦：48ha、大豆：18ha(うち種子7ha)（R6年）
- 2年4作の輪作（稲→麦→大豆→麦）、ブロックローテーション実施
- 基盤整備事業により、暗渠の整備を行った。所得増加と経営の安定化を図るため、大豆の作付に努めている。

取組のポイント

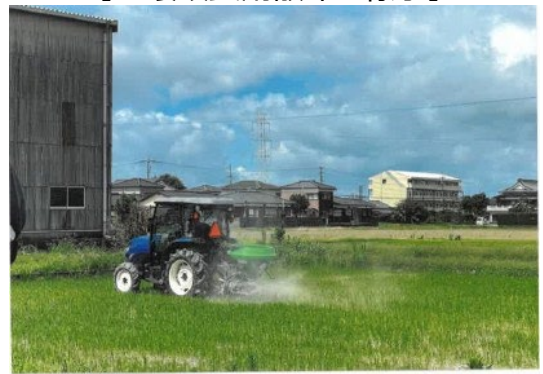
<先進的な営農技術の導入>

- 「部分浅耕—工程播種」により、耕起と播種を同時に行うことで、省力化や適期播種による収量安定を図った。

<土壌診断に基づく土づくり>

- 土壌分析（pH、交換性陽イオン等）を行い、診断結果を踏まえて土壌改良剤の散布を実施。

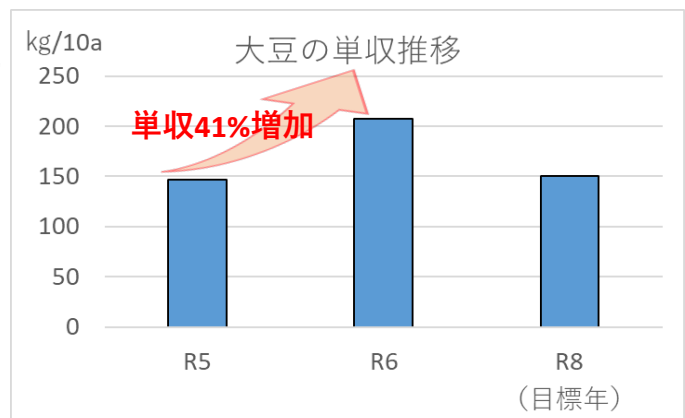
【土壌改良剤散布の様子】



取組成果

<大豆生産の単収増加を実現>

- 大豆作付を団地化し、ブロックローテーションを徹底したことにより、水の有効利用と湿害の回避を実現。
- 適期播種、土づくりや排水性の改善により単収が41%増加
(単収：146.8kg/10a (R5)
→ 207kg/10a (R6))



<安定した農業所得の確保>

- 防除作業や機械の共同利用に積極的に取り組み、団地での栽培を効率的に実施。農業機械費、労働費、労働時間を削減することで、農業所得の確保につながった。